

2 あなたの生活について

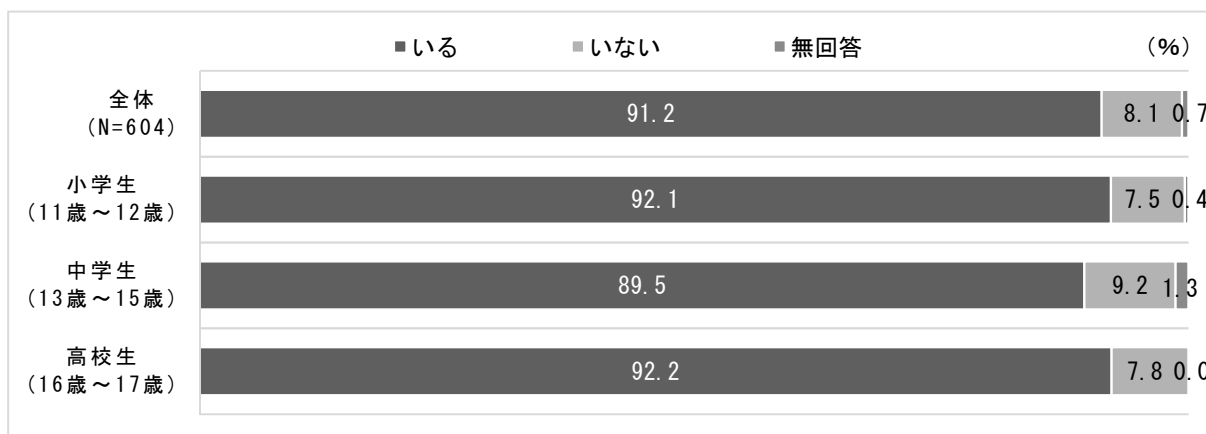
(1) 安心して話せる人

ア 悩みや相談事を話せる人の有無

【子ども：年齢別】

子どもに、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいるかをたずねたところ、子ども全体では「いる」という回答が 91.2%でした。年齢別にみると、「いる」という回答の割合は、高校生世代が 92.2%と最も高くなりました。

図 30 Q5 あなたには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいますか。【子ども：年齢別】

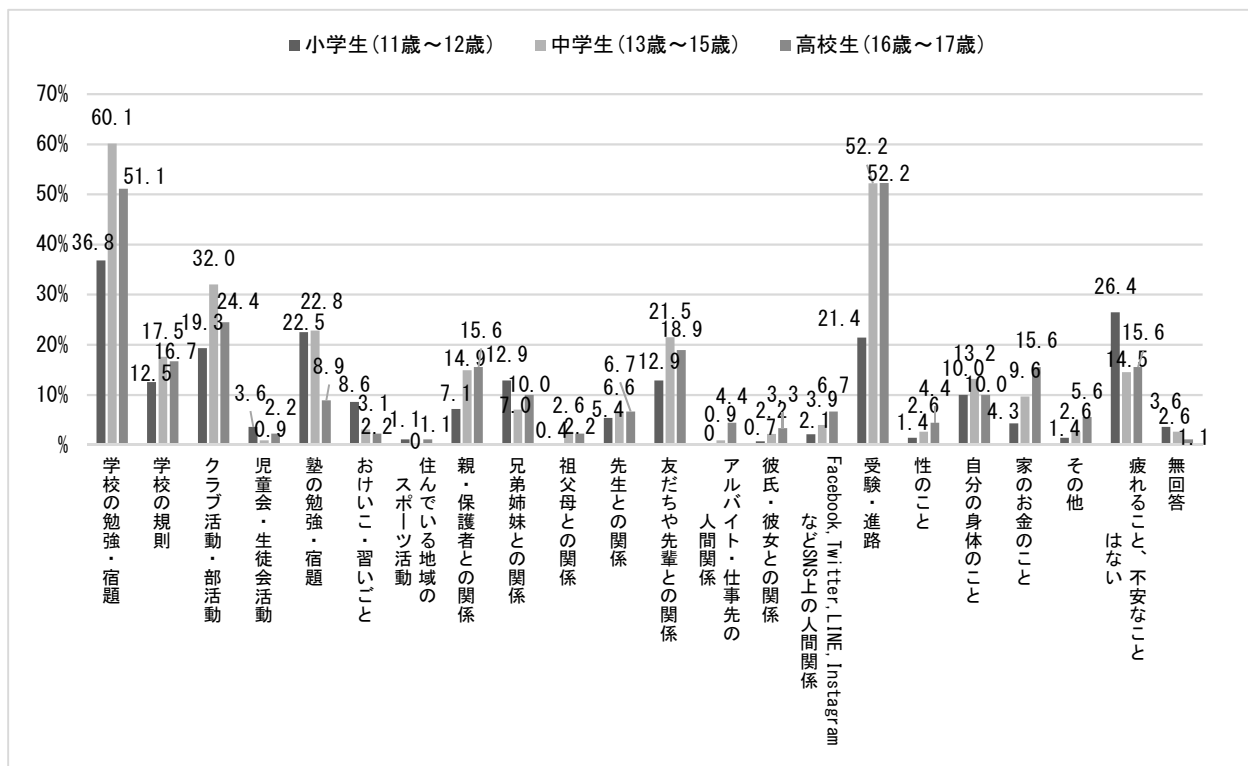


イ 疲れること、不安に思うこと

【子ども：年齢別】

子どもに、疲れること、不安に思うことはあるかをたずねたところ、小学生世代で回答の割合が最も高いのは「学校の勉強・宿題」で、次いで「疲れること、不安なことはない」、「塾の勉強・宿題」の順でした。中学生世代も「学校の勉強・宿題」が最も高く、次いで、「受験・進路」でした。高校生世代では「受験・進路」が最も高く、次いで、「学校の勉強・宿題」でした。「疲れること、不安なことはない」と回答した割合が最も高いのは小学生世代の 26.4%で、次いで高校生世代の 15.6%、中学生世代の 14.5%でした。(図は P. 32 図 31 を参照)

図 31 Q6 あなたは、次の中で疲れること、不安に思うこと、悩んでいることは何ですか。【子ども：年齢別】



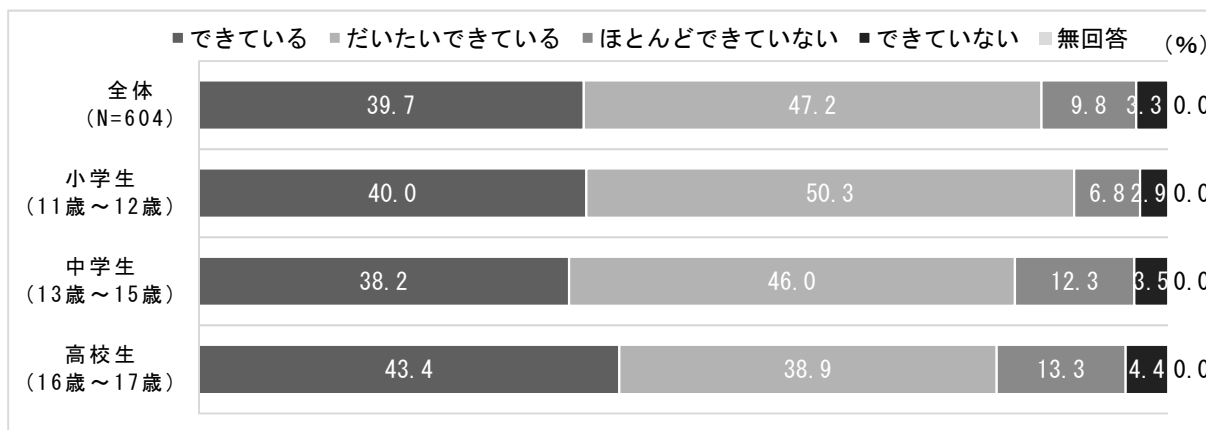
ウ 気持ちを伝えられているか、受け止めることができているか

【子ども：年齢別】

子どもに、家で過ごしているときに、自分の気持ちをおとなに話すことができているかをたずねたところ、子ども全体としては、「できている」という回答が39.7%、「だいたいできている」が47.2%、「ほとんどできていない」が9.8%、「できていない」が3.3%でした。

年齢別に見ると、「ほとんどできていない」、「できていない」と答える割合は、世代が上がるごとに高くなりました。回答の割合が最も高かった高校生世代は、17.7%でした。

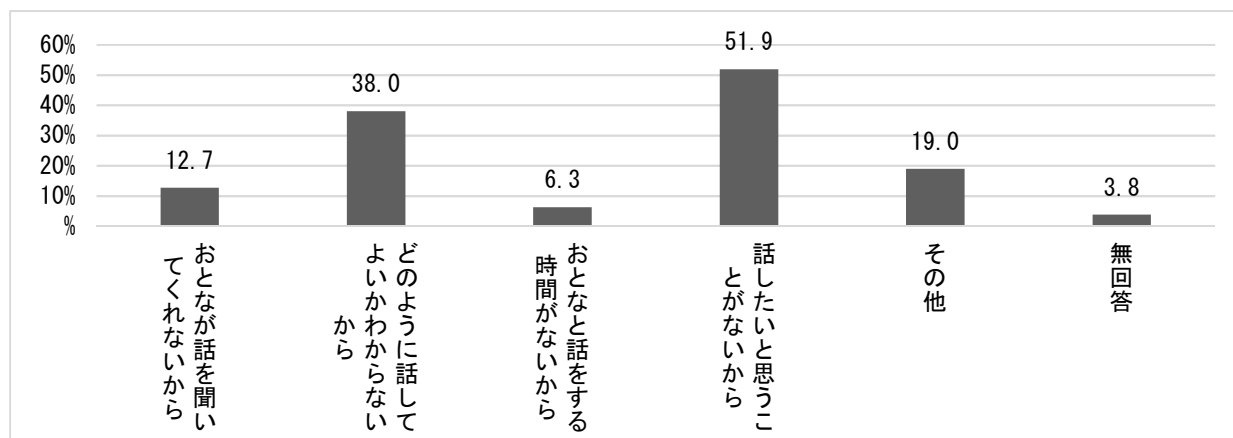
図 32 Q7 あなたは、家で過ごしているときに、自分の気持ちをおとなに話すことができますか。【子ども：年齢別】



【子ども：全体】

Q7において「3ほとんどできていない」、「4できていない」を選んだ子どもに対し、その理由をたずねたところ、「話したいと思うことがないから」という回答の割合が最も高く、51.9%と半数以上を占めました。

図33 Q8 Q7において、「3ほとんどできていない」「4できていない」を選んだ人にお聞きします。その理由は何ですか。(複数選択可)【子ども：全体】



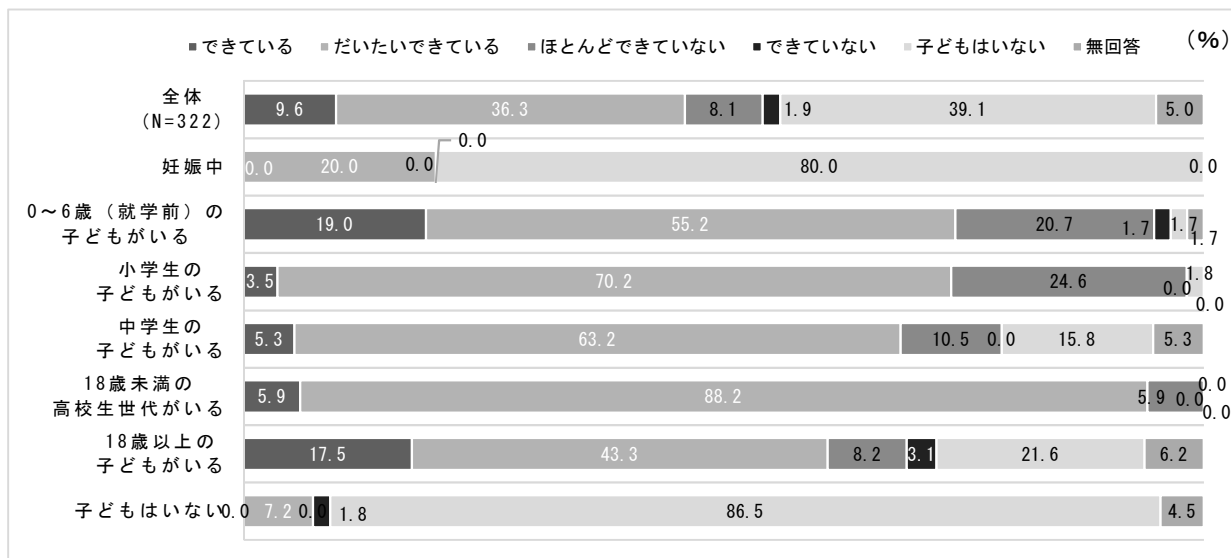
「その他」を選んだ理由（抜粋）

- ・ささいなことを大きくされたくないから。(11歳)
- ・話を聞いてくれると考えると考えない。よい返事がくると考えないから。(14歳)
- ・話す内容が学校のいやなことだからあまり話したくない。(15歳)

【おとな：子どもの有無別】

おとなに、ふだん家で過ごしているときに、子どもの話を聞くこと（気持ちを受け止めること）ができているかをたずねたところ、おとな全体として、「できている」という回答が9.6%、「だいたいできている」が36.3%、「ほとんどできていない」が8.1%、「できていない」が1.9%でした。(図はP.34図34を参照)

図 34 Q7 あなたは、ふだん家で過ごしているときに、子どもの話を聞くこと（気持ちを受け止めること）ができていますか。【おとな：子どもの有無別】

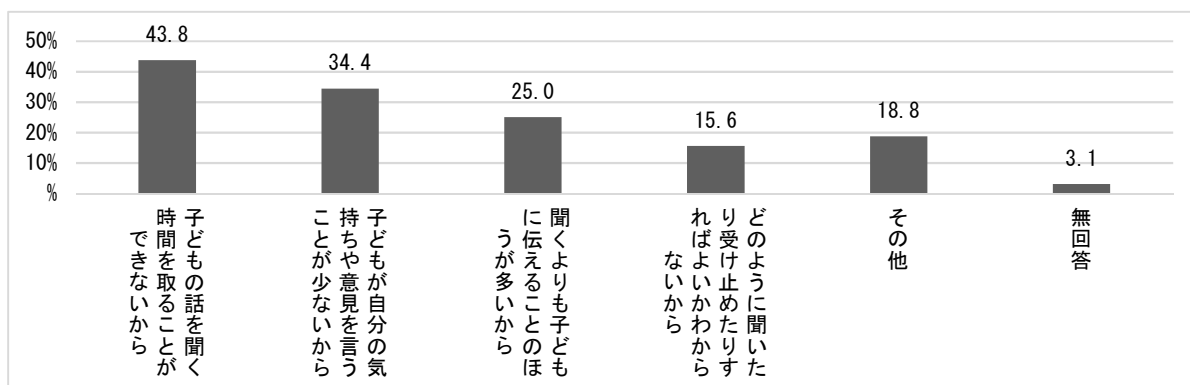


「できている」、「だいたいできている」を選んだ人に対し、具体例や工夫していることをたずねたところ、以下のような回答がありました。（抜粋）

- ・親側の都合ではなく、ゆっくり時間を掛けて、子どもと対話する構えが今のところは出来ている方だと感じます。（20歳代）
- ・大人の手を止め、子供に目を向ける時間を意識的に作ってる。（ごはんの時、寝る前、おフロの時）（40歳代）
- ・子どもの話をよく聞くようにしている。家族会議の時も子供の意見を聞くようにしている。（50歳代）

「ほとんどできていない」、「できていない」を選んだ人に対し、その理由をたずねたところ、「子どもの話を聞く時間を取ることができないから」と答える回答が最も多くなりました。

図 35 Q9 Q7において、「3ほとんどできていない」「4できていない」を選んだ人にお聞きます。その理由は何ですか。（複数選択可）【おとな】



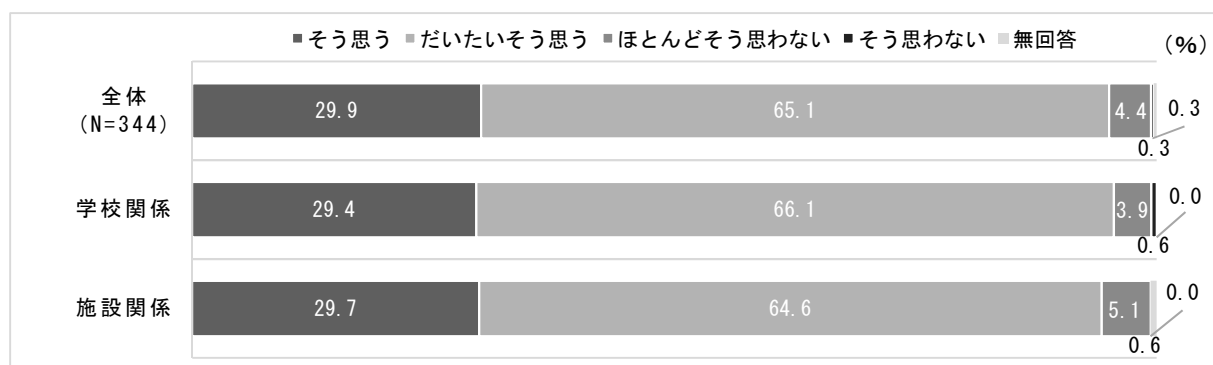
「その他」を選んだ理由（抜粋）

- ・聞いている内に指摘をしてしまい怒ってしまう。（30 歳代）
- ・子どもが相談事を親に話すようにはなかなかならないから。子どもも親の意見を「はい」とは聞かない。（60 歳代）

【職員：施設別】

職員に、子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいると思うかをたずねたところ、職員全体として、「そう思う」という回答が 29.9%、「だいたいそう思う」が 65.1%、「ほとんどそう思わない」が 4.4%、「そう思わない」が 0.3%でした。学校関係と施設関係との間に、大きな差はみられませんでした。

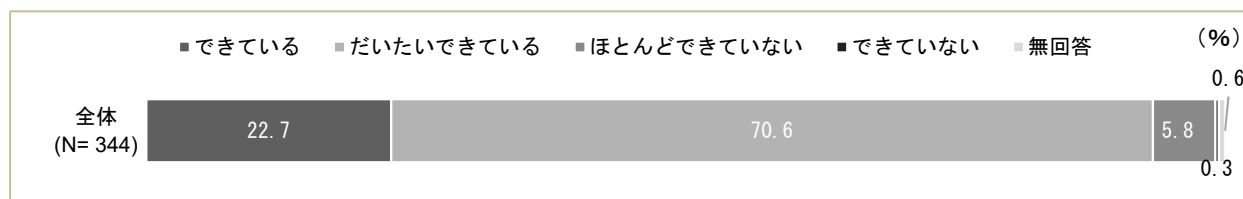
図 36 Q5 あなたは、子どもには、安心して自分の気持ちや悩みを話せるおとなが少なくとも一人はいると思いますか。【職員：施設別】



【職員】

職員に、職場において、子どもの気持ちや意見を聞くこと（受けとめること）ができているかをたずねたところ、「できている」、「だいたいできている」を回答する人が合わせて 93.3%でした。

図 37 Q6 あなたは、職場において、子どもの気持ちや意見を聞くこと（受けとめること）ができていますか。【職員】

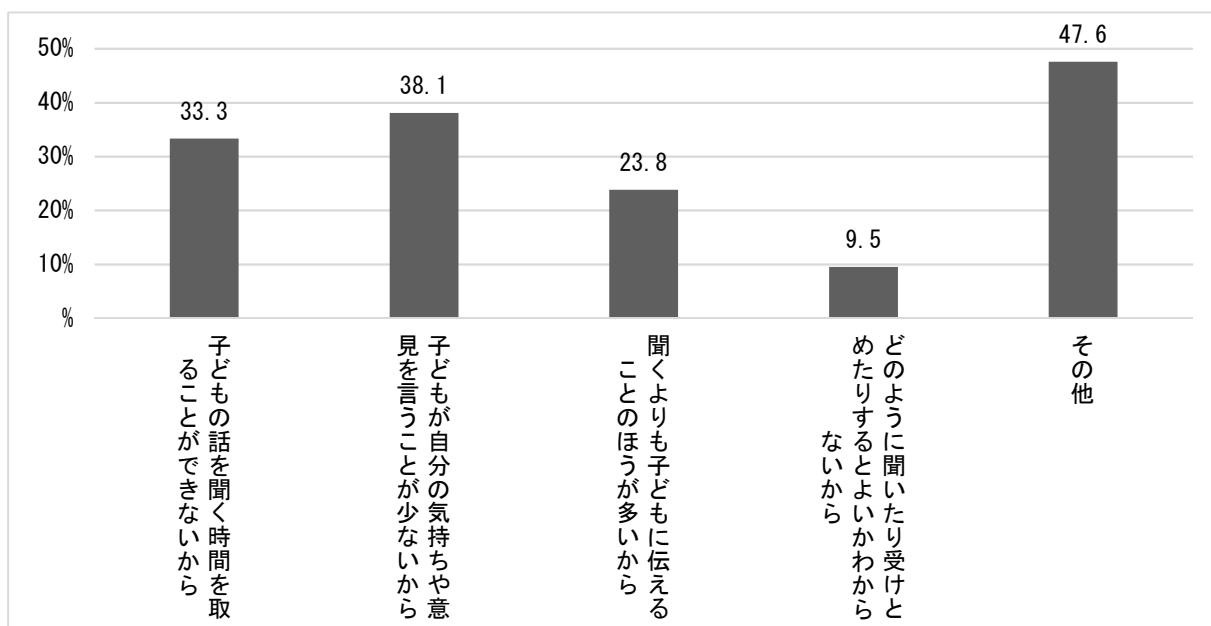


「できている」、「だいたいできている」を選んだ人に対し、具体例や工夫していることをたずねたところ、以下のような回答がありました。(抜粋)

- ・まずは、子どもの気持ちがあるがままに受け入れ、大切に受け止めるよう心がけている。(学校関係)
- ・子どものサインや表情を見逃さないようによく見ている。コミュニケーションを意識的にとる(学校関係)
- ・子どもの気持ちや意見を否定しない。気持ちをくみとりながら親身に相談にのり、一緒に新しい道を探せるようにしている。私の意見だけをおしつけないように工夫している。(学校関係)
- ・日常的な声かけ。大事な時に話しやすい雰囲気づくり(学校関係)
- ・子どもの気持ちや意見をその都度しっかり聞き、受けとめた上で話しをしている(施設関係)
- ・子どもに寄り添い、子どもの気持ちになって子どもの言葉に耳を傾ける、高圧的な言葉、行動はとらない(施設関係)
- ・すぐに聞けない状況でも「ちょっとまってね、聞くからね」と声を掛け、必ず声を掛けるようにする。(施設関係)
- ・一人一人の考えや受け取り方は様々だという事を念頭に置き、過去の経験談(職員側の)に頼り過ぎず、対応に努めるように心がけています。(施設関係)

「ほとんどできていない」、「できていない」を選んだ人に対し、その理由をたずねたところ、「その他」と答える回答が最も多く、47.6%と約半数でした。

図 38 Q8 Q6において、「3ほとんどできていない」「4できていない」を選んだ人にお聞きます。その理由は何ですか。(複数選択可)【職員】



「その他」を選んだ理由（抜粋）

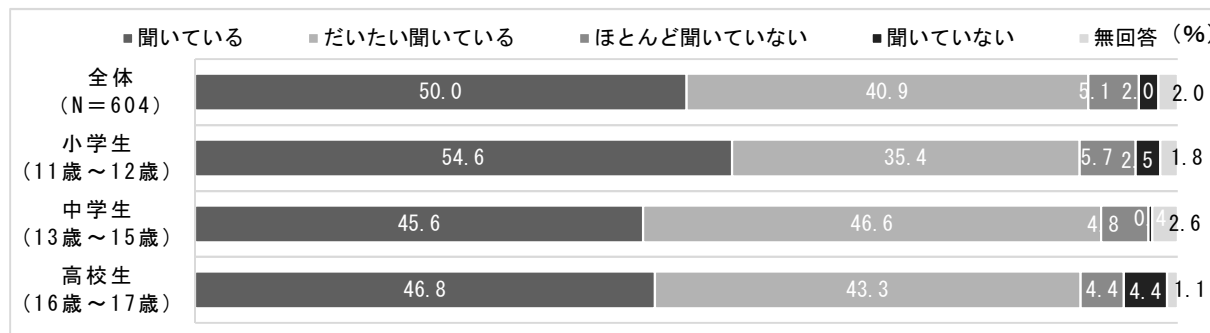
- ・子どもの方が話す相手を選んでるように思えるから（学校関係）
- ・自分ができてると思っても子供の立場ではどうか？（学校関係）
- ・意見を言ってもらえるほどの信頼関係を結ぶまでに時間がかかるから（施設関係）
- ・友だちとの関係性などを話をすると、いじめにつながることもある（施設関係）

(2) 話したことの実現性

【子ども：年齢別】

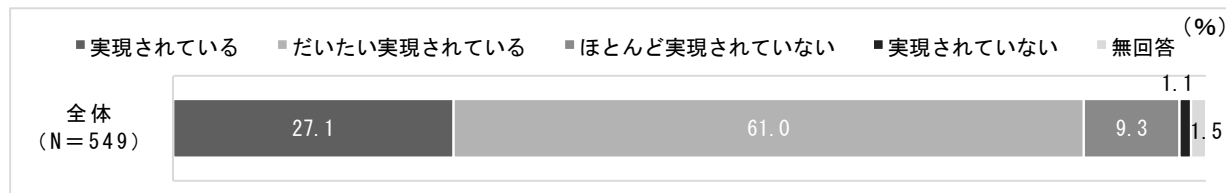
子どもに、家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いているかたずねたところ、子ども全体としては、「聞いている」、「だいたい聞いている」という回答が合わせて90.9%でした。

図 39 Q 9 家で何かをしたり、決めたりするとき、おとなはあなたの意見を聞いていますか。【子ども：年齢別】



「聞いている」または「だいたい聞いている」を選んだ人に、聞いてもらった自分自身の意見は実現されたかたずねたところ、9割近くが「実現されている」、「だいたい実現されている」と答えました。

図 40 Q 10 Q 9において、「1聞いている」または「2だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。聞いてもらった自分自身の意見は実現されましたか。【子ども】



実現されたことで印象に残っていることをたずねたところ、以下のような回答がありました。（抜粋）

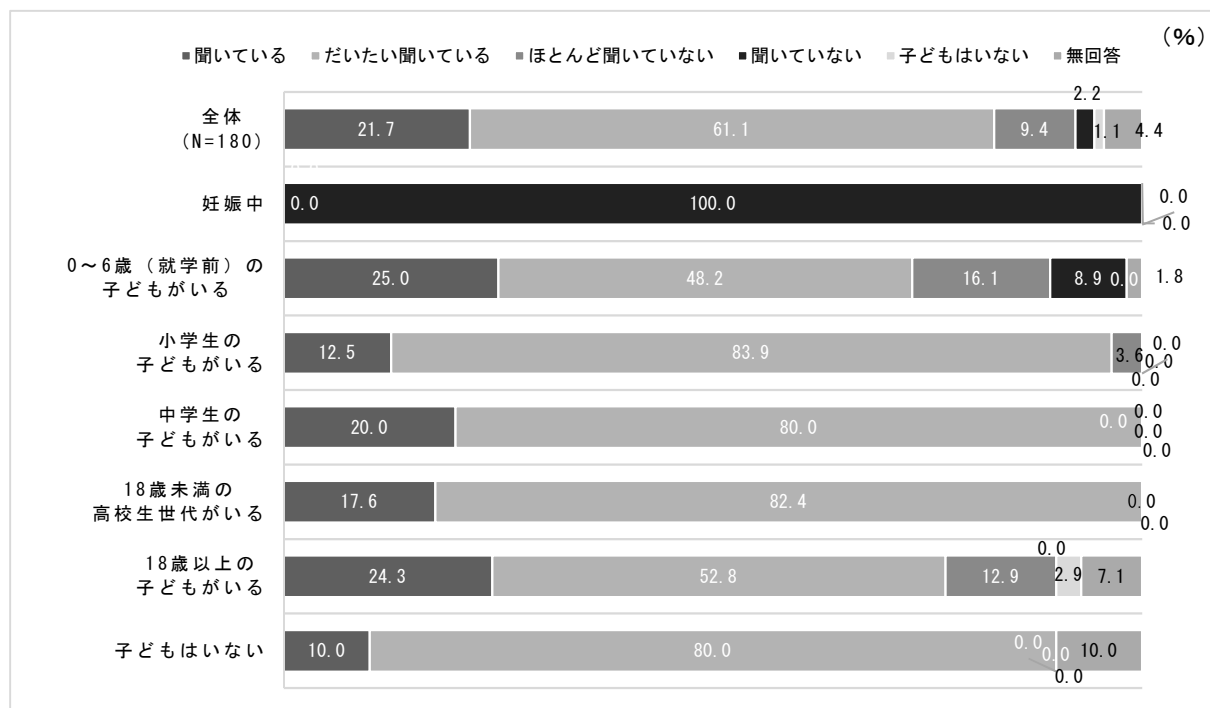
- ・しょうらいの夢のために必要なものを、心良く買ってくれた。(11歳)
- ・どこで外食するか話した時自分の意見が実現したこと。(11歳)
- ・自分のへやができた。(つくってもらった！)(11歳)

- ・コワイってなったとき、こう考えれば大丈夫、とか聞いてそれを実現したらコワくなくなった。(11歳)
- ・犬を飼うときに私はこの犬が良い!と行った犬にしてくれた。今も元気に一緒にくらしている(13歳)
- ・学校での提出物やクラブについて決断するときアドバイスをくれた。(14歳)
- ・「今日はどうしても休みたい」と言ったときに、学校を休ませてもらえた。(14歳)
- ・習い事が嫌になったら、「やめていいよ」と言ってくれた事。(14歳)
- ・今、部活動での人間関係に悩んでいましたが、私の意見を尊重して話を聞いてくれた結果、先生に相談することも本人と話し合うことも出来た。最終的には退部を決意しましたが、私のためにそれを提案してくれた両親には感謝しています。(16歳)
- ・予定などの個人の情報の共有方法に関して(17歳)

【おとな：子どもの有無別】

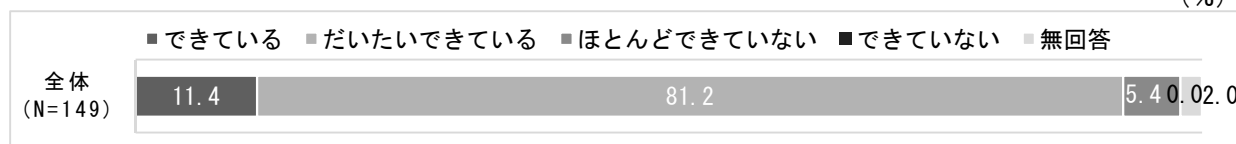
おとなに、家の中で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いているかをたずねたところ、「聞いている」、「だいたい聞いている」と答えるおとなは全体で82.8%でした。「聞いている」、「だいたい聞いている」と答えた割合が最も高かったのは、中学生世代、高校生世代の子どもがいるおとなでした。反対に、「ほとんど聞いていない」、「聞いていない」と答えるおとなが多かったのは、妊娠中を除いて0～6歳（就学前）の子どもがいるおとなでした。

図41 Q10 あなたは、家の中で何かを決めるとき、子どもの意見を聞いていますか。【おとな：子どもの有無別】



「聞いている」、「だいたい聞いている」を選んだおとなに対し、子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができているかをたずねたところ、「できている」、「だいたいできている」と答えたおとなは合わせて92.6%でした。

図42 Q11 Q10において、「1聞いている」または「2だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を実際に反映させたり、実現したりすることができますか。【おとな】 (%)



「できている」、「だいたいできている」と答えたおとなに対し、できたことで印象に残っていることをたずねたところ、以下のような回答がありました。(抜粋)

- ・子どものやりたい遊びをどうしたら、できるのか子どもと一緒に考えた。(20歳代)
- ・星の観察に興味をもっていたので天体望遠鏡を購入した。子どもと星をみたり、天体について勉強したりしている(40歳代)
- ・今、自分のやりたいことや進学についてなど。(50歳代)

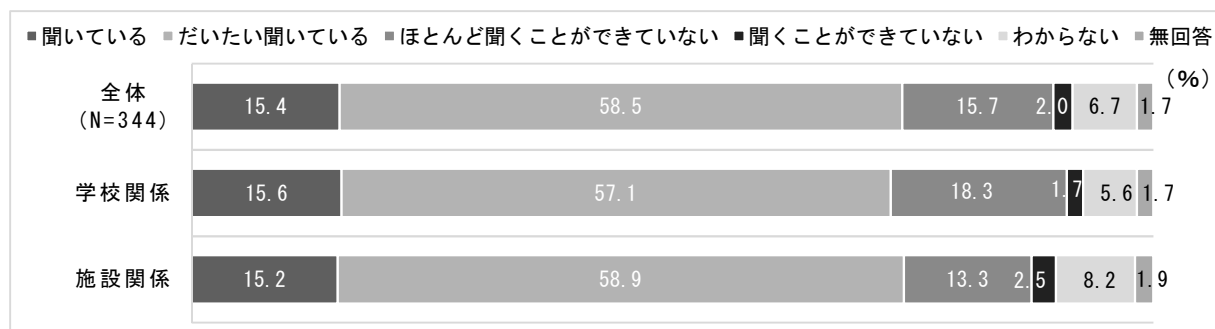
「ほとんどできていない」、「できていない」を選んだおとなに対し、その理由をたずねたところ、以下のような回答がありました。(抜粋)

- ・家事などをやっていて、ずっと一緒に遊んであげられないことや、わがままにすぎないことがあるから全ては受け入れられていない。(30歳代)
- ・子どもがまだ幼いため、決定に責任を持つのは親だから。(40歳代)

【職員：施設別】

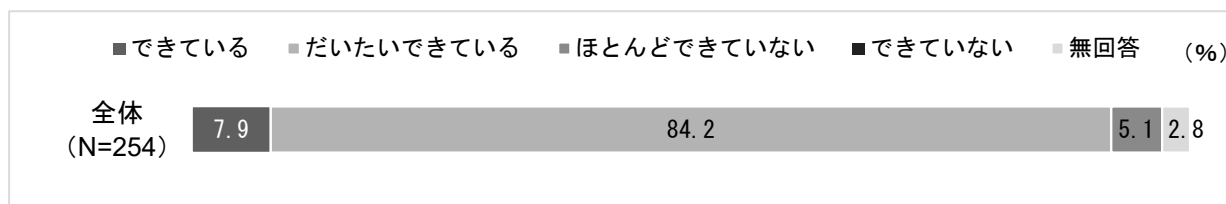
職員に、職場で子どもに関わること(運営方針、授業・保育内容、行事等)を決めるとき、子どもの思いや考えを聞いているかをたずねたところ、「聞いている」、「だいたい聞いている」を回答する人は合わせて73.9%でした。

図43 Q10 あなたの職場では、子どもに関わること(運営方針、授業・保育内容、行事等)を決めるとき、子どもの思いや考えを聞いていますか。【職員：施設別】



「聞いている」、「だいたい聞いている」と答えた職員に対し、子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現したりすることができているかたずねたところ、「できている」、「だいたいできている」と回答する人は合わせて92.1%でした。

図44 Q11 Q10において、「1 聞いている」または「2 だいたい聞いている」を選んだ人にお聞きします。子どもから聞いた意見を、実際に反映させたり、実現したりすることができますか。【職員】



「できている」、「だいたいできている」と答えた職員に対し、できたことで印象に残っていることをたずねたところ、以下のような回答がありました。(抜粋)

- ・教室の座席や学年集会など、子どもの考えを聞いて行っている。(学校関係)
- ・生徒会で意見箱を作った方が良いという意見がでたので、実際に作成して取り組みを行っている。(学校関係)
- ・行事、イベントを行う時に、子どもたちは何をしたいか聞き、子どもが意欲的に取り組んでいた姿。(施設関係)
- ・子どもの意見を聞いて遊具を購入する。(おもちゃ、本、マンガ等)・〇〇大会などの行事を実施する。(卓球、バドミントン、カードゲーム等)(施設関係)

「ほとんどできていない」、「できていない」を選んだおとなに対し、その理由をたずねたところ、以下のような回答がありました。(抜粋)。

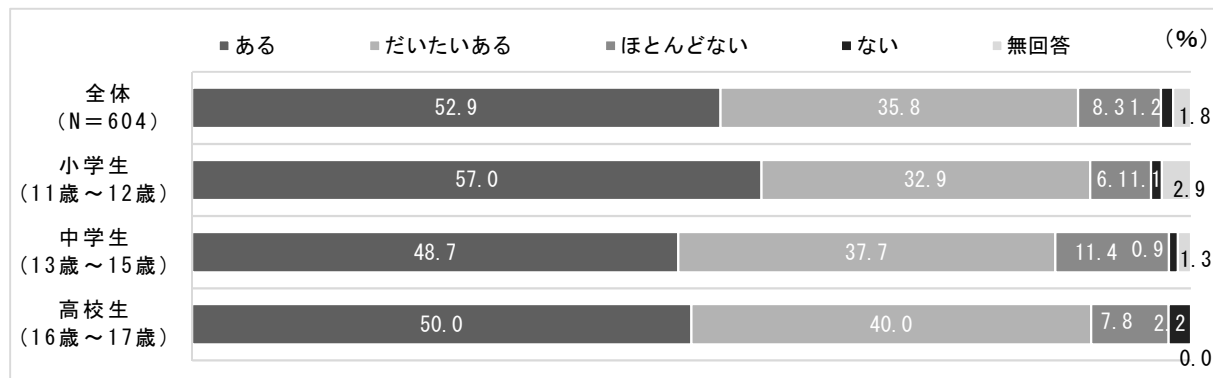
- ・失敗しないようにと考えるとつい、子どもたちの意見を反映させるより、自分の考えを優先させてしまう(学校関係)
- ・聞いたうえで、再検討する時間が確保されていない(学校関係)
- ・子どもと話し合う時間が定期的にとれなかったため計画が進まなかった。(施設関係)
- ・ルールの多さ、自由な運営ができていない(施設関係)

(3) ホットできる時間・場所

【子ども：年齢別】

子どもに、遊んだり休んだり自分の好きなことをしたりする時間が十分にあるかたずねたところ、「ある」、「ときどきある」と答えた人は合わせて88.7%でした。

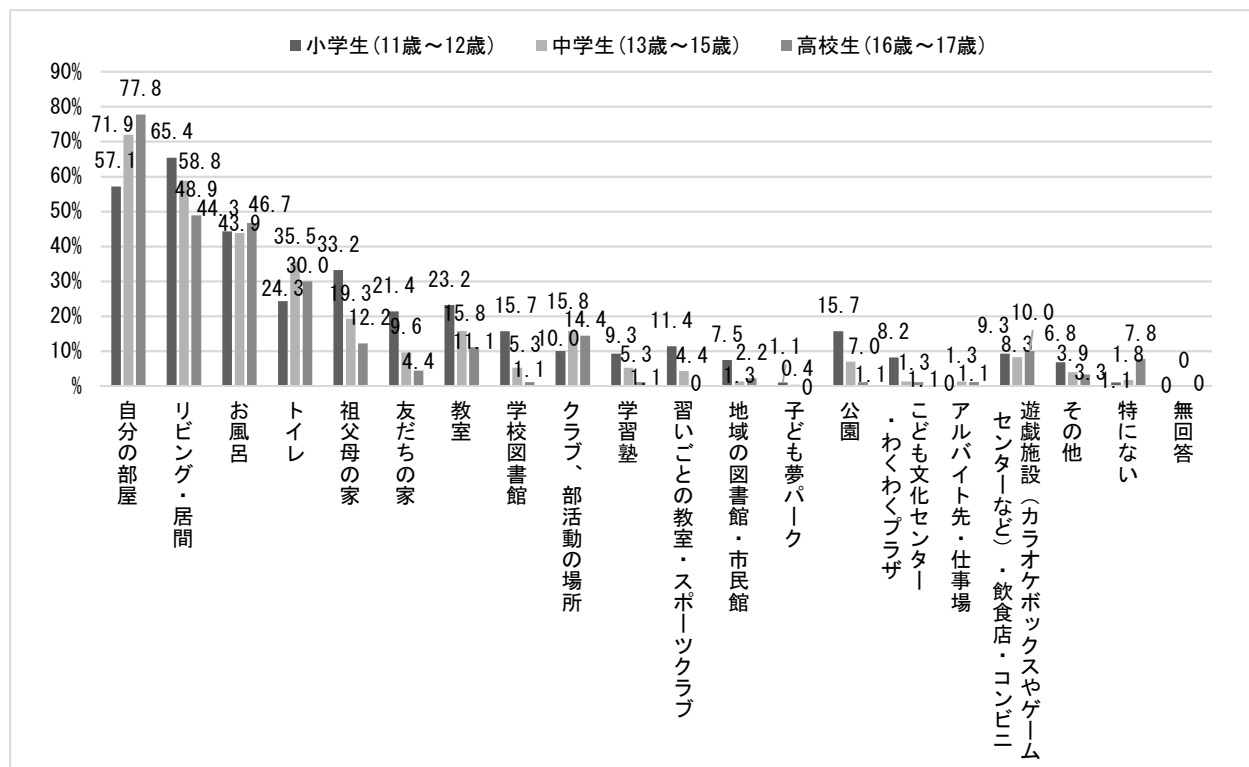
図45 Q12 あなたには、遊んだり休んだり自分の好きなことをしたりする時間が十分にありますか。【子ども：年齢別】



【子ども：年齢別】

子どもに、ホットできる場所はどこかたずねたところ、全年代で「自分の部屋」や「リビング・居間」と答える割合が高くなりました。

図46 Q13 あなたにとってホットできる場所はどこですか。(複数選択可)【子ども：年齢別】



(4) 大切にされているか

【子ども、おとな】

子どもとおとなに、生活のなかで文化・国籍などのちがい、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思うかたずねたところ、「そう思う」と答える割合は子どもが 39.4% だったのに対し、おとなは 12.7% でした。「そう思う」、「ときどき思う」を合わせると、子どもポイントは 86.3%、おとなは 75.4% と肯定的な回答をする割合は子どもの方が高く、おとなと 10 ポイント以上の差がありました。

図 47 Q15 (17) あなたは、生活のなかで文化・国籍などのちがい、障がいのあるなしにかかわらず、子どもは大切にされていると思いますか。【子ども、おとな】

